

# かいけはし

vol. 101  
2025.11

IIA presents  
世界の昭和



Discover TANABATA

日本語の教え方セミナー



Learning Japanese culture tour

Filipino  
cooking seminar



Ichinomiya International Association

一宮市国際交流協会

Instagram



Facebook



Website





## にほんぶんかりかい せいがつじょうほうがくしゅう 日本文化理解と生活情報学習ツアー

かんきょう  
環境センターと尾西歴史民俗資料館  
びさいれきしみんぞくしりょうかん  
きゅうはやしけじゅうたくへんがく  
および旧林家住宅見学バスツアー 5月18日

にほんご  
日本語ひろばとVEGA日本語学校の生徒37  
めい  
名とボランティア・スタッフ含め総勢49名で国  
さいこうりゆうきょうかいしゅさい しない  
際交流協会主催の市内バスツアーが開催され  
ました。

むかいやま かみやま びさいさんじょう かくきょうしつまえ せいと  
向山、神山、尾西三条の各教室前で生徒を  
さいしょ もくとてきち かんきょう  
ピックアップし、最初の目的地・環境センター  
ごぜん じ とうちやく けんしゅうしつ あつ  
に午前10時ごろ到着しました。研修室に集ま  
えいご  
り、まずは英語・ベトナム語・中国語・日本語と  
げんご  
言語グループの振り分けを行いました。セン  
ひらやま けんがく ちゅううじ  
ターの平山さんから見学にあたっての注意事  
こう せつめい さっそく ない けんがく  
項の説明のあと、早速センター内を見学しま  
した。

さいしょ  
最初にプラットホームというゴミ収集車がゴ  
ミをピットへ落とす大きな扉について見学通  
る せつめい う  
路から説明を受けました。一日にゴミ収集車  
だい しない なんおうふく ほか  
33台が市内とセンターを何往復もし、その他  
いっぽんしのみん ぎょうむ ちよくせつはんにゅう ふく いちにち  
に一般市民や業務ゴミの直接搬入を含め一日  
へいきんやく まいにちはんにゅう  
平均約265トンのゴミが毎日搬入されるそうで  
す。

つぎ ちゅうおうせいぎょしつ ろ ねんしよう けんがく  
次に中央制御室で炉の燃焼モニターを見学  
あと も はい しょりしせつ も ねつ はつ  
した後、燃えた灰の処理施設、燃やした熱で発  
せい じょうき りょう はつでんしせつ  
生する蒸気を利用しての発電施設、エコハウス  
おんすい おんすい きょうきゅう しせつ  
138の温水プールへ温水を供給する施設など  
かいだ  
5階建てのセンターをくまなく見学しました。

さいご さいしょ み なが  
最後には最初に見たプラットホームの中の  
かい  
ピットを5階  
み お  
から見下ろし、  
ろ  
クレーンで炉  
とう  
ホッパーへ投  
にゅう さぎょう  
入する作業も  
み  
見せてもらい  
ました。クレーンは24時間無人自動運転がされて  
いることに、一同関心を持って見入っていました。

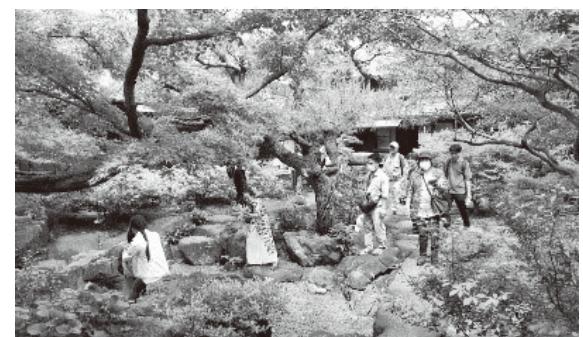
けんしゅうしつ もど  
研修室に戻り、ゴミの出し方、特にリチウム  
でんち かさい はっせい おぞ す かた  
電池は火災が発生する恐れがあり、捨て方に  
はんせん ちゅうい ひつよう せつめい う  
は万全の注意が必要との説明を受けました。

けんしゅうしつ ちゅうしょく  
そのまま研修室で昼食をとり、バスで起の尾  
さいれきしみんぞくしりょうかん いどう  
西歴史民俗資料館へ移動しました。江戸時代  
おこじゅく とうかいどう  
には起宿は東海道のバイパスとして栄えたこ  
えど ばくふ  
と、江戸幕府  
にベトナムか  
らゾウが献  
じょう  
上されたこ  
くわ  
となど、詳し  
く説明を受  
せつめい う  
け、ベトナム出身の生徒は昔から日本との交流  
きそがわ わた  
があつて、ゾウが木曽川を渡ったことに驚いて  
いました。



きゅうはやしけ  
旧林家  
じゅうたく にわ  
住宅は庭  
がきれい  
みな  
で、皆さん  
ぱしょ  
その場所  
はな  
を離れた  
なか  
くない様子で日本庭園を楽しんでいました。中  
ちようすばち お うつく こと ね  
でも手水鉢のしずくが落ちると美しい琴の音  
いろ だ すいせんくつ はじ こうたい ねいろ  
色を出す水琴窟は初めてで、交代でその音色  
き ていえんさん ぱ じかん さ  
を聞いていました。庭園散歩に時間を割いて、  
よてい ふんえんちょう たいさい こんかい  
予定より15分延長の滞在で今回のツアーは  
しゅうりょうじと しゅうごう ば しょ もど  
終了、元の集合場所まで戻りました。

こんかい ひごろしない す  
今回のツアーは日頃市内に住んでいてもな  
かなか行かない所で、参加者はとても満足し  
まんぞく さかく  
楽しんでいました。また今回のような企画が  
おも こんかい さかく  
あるといいと思いました。 (あんちゃん)



# いぶんかりょうり 【異文化料理セミナー】フィリピン料理セミナー

かみやまこうみんかん 神山公民館 りょうりじゅうしつ 料理実習室 がつにち 6月21日

6月21日、国際交流員のキアーラさん、アリスさん、講師の杉山エルビーさんによる、フィリピン料理セミナーが開催されました。

今回作ったのは、「アドボン・バボイ」と「トゥロン」の2種類です。初めて聞く名前の料理…さて、どんな料理でしょう。

机の上には見たことのない調味料「フィリピンビネガー」と「シルバースワンソイソース」、そして調理用バナナ…。わくわく♪



ひとしなめ  
一品目の「アドボン・バボイ」とは、アドボン(煮物) + バボイ(豚肉) = 煮豚です。ニンニクを炒め、お肉とフィリピンの調味料などを入れて煮込むだけ!とっても簡単!!

「フィリピンビネガー」はお酢で、日本のもの

よりまろやか。「シルバースワンソイソース」はしょうゆで、南国独特の香り…。調理が進んでいくにつれて、フライパンのフタからあふれ出すいい匂いが…。

器に盛り、待ちに待った実食…。煮込んだお肉とニンニクがいいアクセント!! めちゃめちゃご飯が進み、12合炊いたお米もあっという間に空っぽに!! 参加者さんからもとっても美味しいとの声や、家でも作ってみますとの声!! 調味料は市内スーパーで手に入りますよ★

もう一品の「トゥロン」は、調理用バナナを砂糖で絡めて、春巻きの皮で巻いて揚げ焼きに!! こちらもあっという間に作れます。食べてみると、日本のバナナ感はまったくなく、口にした瞬間、芋!! 腹もちもよく、デザートにgood!!

フィリピンの文化、料理を通して、参加者の笑顔をたくさん見ることができました。

(なみへい)



## にほんご おしゃかた 日本語の教え方セミナー

むかいやまこうみんかん 向山公民館 だいかいぎしつ 大会議室 がつみつか 8月3日

がいこくじん こうりゅう にほんご ぶんか おし  
外国人と交流しながら日本語や文化を教える  
「日本語ひろば」のボランティアを対象にしたセミナーが開催されました。講師は「公益財団法人名古屋YWCA」の仲村佳子さん。

セミナーは事前アンケートで最も多かった困りごとである「日本語が全くできない学習者にどう教えるか」を主題に取り上げ進められました。講師からは「いろは日本語の会」や「名古屋

がくいんにほんごがっこう  
YWCA学院日本語学校」でどのような教え方をしているかに加え、実際使っている教材の紹介など事例でわかりやすく説明がありました。その後の質疑応答の時間では、受講者からいろいろな質問や意見が出していました。

今回のセミナーはボランティア同士、また事務局も含め、意見を共有していくいい機会になつたのではないかと思います。(katsu)





## IIA presents 世界の昭和

i-Bル3F シビックテラス 七夕ステージ 7月24日

だい かい かんしやさいいちのみやたなばた  
第70回おりもの感謝祭一宮七夕まつりが7  
がつ にち よっかかんかいさい  
月24~27日の4日間開催されました。シビック  
とうせつ いちのみやしこくさいこうりゅうきょうかい  
テラスの特設ステージでは一宮市国際交流協会  
じょにちにじゅうよっか  
が初日24日のトップバッターを受け持ちました。  
ことし とうわひやくねん とし せかい  
今年は昭和百年にあたる年でテーマは「世界  
の昭和」。海外の演奏者や海外で経験を積んだ  
えんそうしゃ せかい とうわ こくさい  
演奏者・ダンサーたちに「世界の昭和」を国際  
しきくゆた ひろう とうしゅっしん  
色豊かに披露してもらいました。

ひとくみめ  
1組目は、イタリア・シチリア島出身のサルヴァ  
トーレ・ピエディスカルツィさんと松江有希子  
まつえ ゆきこ  
さんによるバイオリンとキーボードのデュオ演  
そう にほん しょうわ じだい  
奏。イタリアで日本の昭和の時代にはやったカン  
ツォーネ、そしてシチリア島を舞台にした映画音  
がく にほん めいきょくかわ なが えんそう おお  
楽や日本の名曲「川の流れのように」の演奏に大  
はくしゅ おく  
きな拍手が送られました。

ふたくみめ ぎふ きよてん ぜんこく かつどう  
2組目は岐阜を拠点に全国で活動しているネ  
シェ・ベリーダンススタジオのダンサー6人による  
うつく いしょう しょう  
ベリーダンス。美しいトルコの衣装をまとい、昭  
わ じだい ねんだい  
和の時代1960~70年代にトルコのナイトクラブ



まち おんがく あ  
やジブシーの街などではやっていた音楽に合わ  
かれい まい かんきやく めたの  
せ、華麗な舞で観客の目を楽しませてくれました。  
くみめ デュオ マローン いちのみやしゅっしん はかもだ  
3組目はDuo Maroon。一宮市出身の袴田  
みほ いぬかいゆう や  
美帆さんと犬飼裕哉  
さんによるサクソフォ  
ンとキーボードのデュ  
えんそう オ演奏。フランスやア  
メリカではやった素  
てき きよく えんそう  
敵な曲を演奏してくれました。  
おな いちのみやしゅっしん  
また、同じく一宮市出身でミ  
ス・ユニバース・ジャパン2025  
あいちだいひょう かわ  
プレリミナリー愛知代表の川  
のりかこ ゆうじょうしゅつえん  
野利花子さんが友情出演し、ス  
テージに花を添えてくれまし  
た。

しゅつえんしゃ えんそう たの  
出演者からは、「演奏していてすごく楽しかつ  
た。また呼んでほしい」、「ステージが広くて開放  
てき よ かんきやく  
的で良かった」など、また観客からも、「ステージ  
すばらしく たの みな よろこ  
はとても素晴らしい」など、皆さん喜  
んでいました。

しょにち さいしょ はじ かん  
初日の最初のステージだったので、初めは観  
きやく すく ふ にぎ  
客が少なかったがだんだん増えて賑やかにな  
り、とても楽しい「世界の昭和」になったと思  
います。来年は最初からもっとたくさん人が来てく  
れるといいですね。

(katsu)

## たいけんなん 英語放送アナウンサーボランティア体験談

こうこう ねんせい ふくざわ しりゅう  
高校3年生 福澤 史琉 さん

まな えいご つか しゃかい こうけん  
「学んだ英語を使って、社会に貢献したい」、  
おも ちよせん こんかい えいご ほうそ  
その想いで挑戦した今回の英語放送ボラン  
テイア。これまで十何年過ごしてきた一宮とい  
まち たなばた いちだいぎょうじ  
う街で、七夕まつりという一大行事のボラン  
テイアとしてサポートをすることができ、感慨  
かんがい もひとしあです。  
とうじつ あんないじょほうそ ねっちゅうしょよぼう ほうそ  
当日は案内所放送、熱中症予防の放送など  
にほんご えいご すうじゅっはん おこな  
を、日本語と英語で数十分ごとに行いました。

じぶん こえ かいじょうない ひび き ほんとう とど  
自分の声が会場内に響くのを聞いて、本当に届  
いているのだと実感し、ま  
つりを創る一員になれた気  
がしました。もう一人の担  
とう かた きょうりょく えいご ほう  
当の方と協力して、英語放  
そそ たの ひとり たん  
送を楽しむことができ、と  
よ けいけん かん がいい経験になったと感  
じています。



## 【Discover TANABATA】ボランティア体験談

たいけんたん

なかの さやか  
中野 紗佳 さん

ことし たなばた がいこく ゆかた  
今年の七夕まつりで、外国のゲストに浴衣を  
きよせて一緒に楽しむイベントにボランティアとし  
て参加しました。



わたし たんとう ぎ ふだいがく  
私の担当は岐阜大学のインドネシア人留学生  
めい いろ ゆかた にあじど  
5名で、色とりどりの浴衣がよく似合い、自撮り  
たの すがた かわい しゅうきょうじょう  
を楽しむ姿が可愛らしかったです。宗教上の理  
ゆう ながそで ちゃくよう あつ  
由でヒジャブや長袖を着用しており、暑さが心

ぱい さいご げんき たの  
配でしたが最後まで元気に楽  
しめました。ハラル食品\*しか  
くち 口にできないため屋台料理を  
あじ 味わえなかつたのは残念でし  
たが、盆踊りでは「楽しい！」  
と30分踊り続ける学生もいて、  
日本文化を存分に楽しんでくれました。



かいわ  
ゲストと会話しながら  
たなばた ある なか  
七夕まつりを歩く中で、  
にほんぶんか よ あらた  
日本文化の良さを改め  
て感じました。貴重な経  
けん 験をありがとうございました。



\*ハラル食品…イスラム法で食べてもよいとされている食品のこと。

## なつやす 夏休みホームステイ体験談

なかはら  
中原さんファミリー

がつ にち がつ にち  
8月15日～8月17日

なつ き  
この夏、ネパールから来たスワディッシュさんと  
ビベクさんを3日間ホームステイで迎えました。  
初日は友人家族を招き、手巻き寿司のウェル  
カムパーティーでにぎやかに交流。2日目はサッ  
カーやバレー、ボールで体を動かし、午後には長良  
川での川遊びや郡上八幡の観光を楽しみま  
した。3日目にはネパールの朝ヨガを教えていただ



ご び  
きました。その後、尾  
しゆう ち いき おりもの あみものこう  
州 地域の織物・編物工  
じょう はしまし だいぶつ けん  
場や羽島市の大仏を見  
がく 学。おはぎや餃子づくり、  
習字にも挑戦しま  
した。

ふたり たいざいちゅう わ  
二人は滞在中、我が家  
や さい むすめ つね あそ  
家の3歳の娘と一緒に遊  
ことば こ  
んでくれ、言葉を超  
あたた こうりゅう すがた いんしょくてき  
た温かな交流の姿がとても印象的でした。文化  
ちが おどろ ぱめん の違いに驚く場面もありましたが、それ以上に相  
ごりかい ゆうじょう ふか きょうじかん  
互理解と友情が深まる貴重な時間となりました。  
けいけん つう あいて くに りかい ふか  
この経験を通じ、相手の国への理解が深まる  
どうじ じぶん ちいき みりょく あらた  
と同時に、自分たちの地域の魅力にも改めて気  
づくことができました。今後もこうした活動が広  
がり、国際交流の輪がさらに大きくなることを  
願っています。



# 世界をあそぼう！フレンドシップフェスティバル

i-ビル3F シビックテラス 9月23日

毎年恒例になりましたフレンドシップフェスティバルが今年は尾張一宮駅前のi-ビルで開催されました。毎回、各国の楽しい体験や、世界のステージを楽しめる催しです。各ブースを回ってスタンプを3個もらうと外国のお菓子をプレゼントされるとの企画も手伝ってか、今年は一段と盛り上がりを見せ、老若男女すべての人が楽しいひと時を過ごせたと思います。

会場の中央に各国の民族ダンスステージと60人ほどの席が用意されていました。その脇に3か国の体験コーナーと、ステージの向かいには様々な国の衣装を着て写真を撮る民族衣装コーナーがありました。

体験コーナーではベトナムのボード

ゲームや、ニュージーランド(NZ)のかわいいフィンガーパペット手芸、NZの動植物が描かれたカードでの神経衰弱ゲーム、毎年人気の高いイタリアのヴェネチアンマスク作りや、イタリア語を学べるブースがありました。



中でもベトナムのボードゲームは日本のすぐろくに近いものでしたが、ボードのゴールを目指すものではなく、ぐるぐると回って、ボード上でお金を集め、ゾウ、馬、鳥を購入し、たくさん集めた方が勝ち、というゲームでした。ゲストの子どもの中には長時間にわたり何回もゲームをやり続けていた子もいました。ゲームに国境はあ

りませんね。

民族衣装を着て写真を撮るコーナーでは、子どもだけでなく大人も衣装を着て楽しむ姿が見られました。10時の開場から人が集まり始め、

17時の閉場

までたくさんの人人が写真を撮っていました。

中央のステージではウズベキスタン出身の留

学生によるお国紹介から始まり、アメリカのタップダンス、午後からはフラダンス、フラメンコ、最後にキューバのサルサダンスが披露されました。一宮近隣で各ダンスを習得している人のパフォーマンスで、練習の成果が出て、会場の皆さんも盛り上がっていました。

最終のダンスは観客も交え全員参加でした。サルサ調にアレンジしたABBAのDancing Queenの曲をお年寄りも楽しく踊ることができ、やさしい振付で、フェスティバルの最後を飾りました。



大成功のうちに終了した催しました。スタッフはじめ、ボランティアの皆さま、本当に疲れ様でした。(あんちゃん)

# おとなりさん..



ヴィエット・トゥアンさんと奥さんのグエン・ティ・ハーさんを紹介します。

二人はベトナムにいるところ、互いに朝のジョギングをしていて知り合い、結婚したそうです。ベトナムでは結婚しても

夫婦姓が一般的で、同じ姓にするのはおじいさんの代ぐらいまでだったそうです。その後、ベトナムで車の整備工場で働いていたトゥアンさんが、日本の車の高い技術を学んでみたいと2019年に技能実習生として来日。そこから特定技能1号の試験を受け、3年前に一宮の自動車整備工場に就職しました。ハーランもトゥアンさんを追って技能実習生から特定技能となり一宮にやってきたのだそうです。

一宮の印象をお聞きすると、お店が近いし交通も便利で住みやすくていい街ですと、二人でに

こやかに答えてくれました。せっかく日本にいるのだからとスノーボードにチャレンジしたり、花火や夏祭りなどに出かけたりしたそうです。今年の一宮七夕まつりでは盆踊りに参加し、コスプレパレードで鬼滅の刃の伊之助に扮していた人に声をかけて一緒に写真を撮ったのだと。またトゥアンさんは根っからの車好きなようで、一宮に来てから免許をとり、車も買って、大阪や友人のいる茨城など遠くへも車で行ったそうです。車は中古のスバルで、軽自動車だけど4気筒なんですと嬉しそうに話してくれました。

ハーランは現在妊娠5か月で、市役所で母子手帳をもらい、妊婦検診を行っているそうです。つわりのひどい時は3週間ほど休みがもらえたし、病院の先生たちもやさしいと聞いて安心しました。ハーランは赤ちゃんの出産はベトナムでと考えて、それを機にベトナムに戻りたいと話していました。トゥアンさんもゆくゆくはベトナムで自動車整備の仕事がしたいとのことで、やはり家族のいるところで暮らしたいのかなと思いました。(日野)

※2025年8月取材

## iia information

### 日本語の教え方セミナー

① 外国人児童生徒に対する日本語の教え方を学びます。

▼ 日 時 / 12月13日(土曜日) 午後1時~3時  
▼ 場 所 / 神山公民館 大会議室

② 大人の外国語を母語とする方に対する日本語の教え方を学びます。

▼ 日 時 / 12月20日(土曜日) 午後1時~3時  
▼ 場 所 / 神山公民館 大会議室



もうじき  
申込はこちら

### English Free Talk

市国際交流員や参加者同士で英会話を楽しみます。

▼ 日 時 / 12月12日(金曜日)  
午後6時~7時  
▼ 場 所 / 神山公民館 大会議室



もうじき  
申込はこちら

### 国際交流ふれあいボウリング

日本国籍の方と外国籍の方が一緒にチームを組んでボウリングを楽しみます。

▼ 日 時 / 2026年1月18日(日曜日)  
午前10時30分~午後0時15分  
▼ 場 所 / アソビックスびさい



もうじき  
申込はこちら

### 祝おう！旧正月2026

旧正月を祝う国(ベトナム、中国、韓国等)の民族衣装や伝統遊び、クラフトを体験したり、ステージパフォーマンスを楽しめます。

▼ 日 時 / 2026年2月8日(日曜日)午前10時30分~午後4時30分  
▼ 場 所 / イオンモール木曽川 1Fノースコート



\*各イベントの詳細につきましては後日ウェブサイトにて公開いたします。

# 愛・地球博 20 祭

## ちきゅうだいこうりゅう

# 地球大交流フェスタ

愛・地球博記念公園(長久手市) 7月5日~7月6日



7月5・6日に愛・地球博記念公園で開催された「地球大交流フェスタ」に、一宮市国際交流協会も出展しました。

ブースでは、トレビーゼ市との交流を紹介するパネルや、イタリアから贈られた品々を展示しました。さらにクイズラリーも実施し、全問正解するとガチャガチャに挑戦できる仕組みで、来場者に楽しんでいただきました。一宮市から多くの方が遊びに来てくれました。

2日目のステージでは、イタリア出身のアンジェロ・アクリーニさんがアコーディオンを演奏し、その演奏に合わせて元国際交流員のリーザさんがトレビーゼ市からオンラインで出演してくださいました。会場とトレビーゼ市をつなぐ生中継となり、普段は見えないイタリアの風景を見ることができました。



▲アンジェロさんの演奏とリーザさんのオンライン中継

## 【愛知県教育委員会からのお知らせ】 県立いちのみや中学校(夜間中学) の生徒を募集します。



来年4月、一宮高校内に夜間中学が開校します。

- 入学できる人／愛知県に住んでいる、または、働いている会社があり、満15歳を超えた人のうち、次の①または②に当てはまる人  
①日本または海外で義務教育を終えていない人  
②不登校など様々な事情によって十分な教育を受けられないまま中学校を卒業した人
- 面談申込期間／9月17日(水曜日)～12月5日(金曜日)
- 生徒募集期間／10月1日(水曜日)～12月12日(金曜日)
- 学校紹介パンフレットや入学願書は、一宮市役所4階の学校教育課等に置いてあります。また、いちのみや中学校ホームページからダウンロードできます。
- お問合せ先／愛知県教育委員会あいちの学び推進課新しい学校づくりグループ TEL 052(954)6315



ホームページはこちら ▲

## 編集後記

子供の頃、なぜか体温より気温が高くなると生きていられないと思い込んでいた。だから、エジプト旅行に行った人から気温が40度を超えていて日陰に入るとホッとしたという話を聞いたときには、凄く驚いたのを覚えている。今年、日本はとびきり暑かった。連日の体温を超える気象ニュースも熱中症警戒アラートも見慣れてしまった。それでも元気に夏を乗り越えることができた。自分の体が過酷な環境でも生きていけるように、まだ進化しているようでちょっぴり嬉しかった。(伏原)

発行：一宮市国際交流協会 (〒491-8501 一宮市本町2-5-6 一宮市役所本庁舎9階 観光交流課内)

一宮市の国際交流協会の中心となって活躍いただく親善ボランティアを随時募集しております。

みなさんも親善ボランティアに参加しませんか？お気軽にお問い合わせください。

\*この「かけはし」も親善ボランティアにより取材・編集されています。

ご意見・ご感想をお待ちしております。[TEL:0586-85-7076 E-mail:kokusai@city.ichinomiya.lg.jp]

当協会に関する情報はウェブサイトをご覧ください。[WEB:<https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/iia/>]